

広島大学法学部

School of Law Hiroshima University



CONTENTS

- 2 ページ 法学部長挨拶・教員一覧
- 3 ページ 法学部で学ぶ4年間
- 7 ページ 楽しいよっ!! キャンパス・ライフ
- 9 ページ 各界で活躍する先輩たち
- 11 ページ 大学院で学ぼう
- 13 ページ 法学部への入口は多彩



法学部の沿革

昭和24年(1949)	広島大学創設と共に法学部の前身たる政経学部(政経学科)設置
昭和25年(1950)	政経学部第二部政経学科を設置
昭和32年(1957)	政経学部は広島市江波町から広島市東千田町に移転
昭和34年(1959)	政経学部政治経済学専攻科を設置
昭和40年(1965)	政経学部政経学科・第二部政経学科を政経学部法律政治学科・経済学科・同第二部に改組
昭和47年(1972)	大学院法学研究科(修士課程)を設置 政治経済学専攻科を廃止
昭和52年(1977)	政経学部を分離改組し、法学部・経済学部及び同第二部を設置(政経学部の廃止は昭和63年)
昭和61年(1986)	大学院法学研究科(修士課程)・大学院経済学研究科(修士課程)等を改組し、 大学院社会科学研究科(博士課程)を設置
平成7年(1995)	東広島市に移転 法学部・同第二部を改組し、昼間コース・夜間主コース(東千田地区)を設置
平成16年(2004)	大学院社会科学研究科の改組・部局化
令和2年(2020)	大学院社会科学研究科法政システム専攻、社会経済システム専攻を大学院人間社会科学研究科 法学・政治学プログラム、経済学プログラムに改組
令和5年(2023)	「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」とする東千田キャンパス整備計画により 法学部昼間コース、法学・政治学プログラムを広島市に移転

遥かなるボローニャから広島へ —— 人類共通の智慧を学ぶ

法学部長 吉 中 信 人



「法学」の源流は、遙か紀元前のローマ12表法に遡り、日本法は、8世紀の唐律にも学びました。11世紀には、世界初の法学部が、イタリア・ボローニャ大学に誕生しています。また、古代ギリシアにその起源を訪ねる「政治学」は、アリストテレスが「諸学の女王」と呼んだほど、歴史を持つ由緒正しき学問です。これら伝統的学問を踏まえながら、「社会学」は、近代のまなざしから、実証科学の方法を用いて、社会の諸相を問い直してきました。

広島大学法学部では、こうした歴史を踏まえながら、実際の社会生活に役立つ多くのルールと、根拠となる「法律」を学びます。その窮極には、法律を生み出す「国のかたち」や「政治」が、さらには「政治」を支える「社会」があります。例えば、ある法律の欠陥を考えたとき、むしろ、「政治」に理由があるのではないか、あるいは「社会」そのものに原因が胚胎しているのではないか、といったように、一つの事象を他の分野との相互関連の中で捉えることができます。私たちの法学部では、法学、政治学、社会学の3つの視点から社会に生起する様々な課題を読み解き、思考し、自分なりの意見を表明し、そしてそれを他者とのコミュニケーションの中でさらに発展させる力を養います。

今日、高度にデジタル化した社会において、ただ単に過去の知識を収集し、まとめるようなスキルは、既に大きな意味を持たず、今後は、自律型AIの発展によって、法律家の役割すら減衰していく可能性があります。では将来の社会は、ほとんどAIの言いなりとなるのでしょうか。人間のレゾン・デートル(存在意義)とは何なのでしょう。それを考えるには、これまで法学部の学問を支えてきた諸先学の英知に学びながら、より深く物事の本質を追究する多角的で強靱な思考力が必要です。様々な困難に直面する現代社会の問題を解決し、持続可能な世界に貢献していくために、歴史に鍛えられた人類共通の智慧を学ぶ意義は、益々高まっているのです。

教員一覧(五十音順)

学 部 長 吉 中 信 人

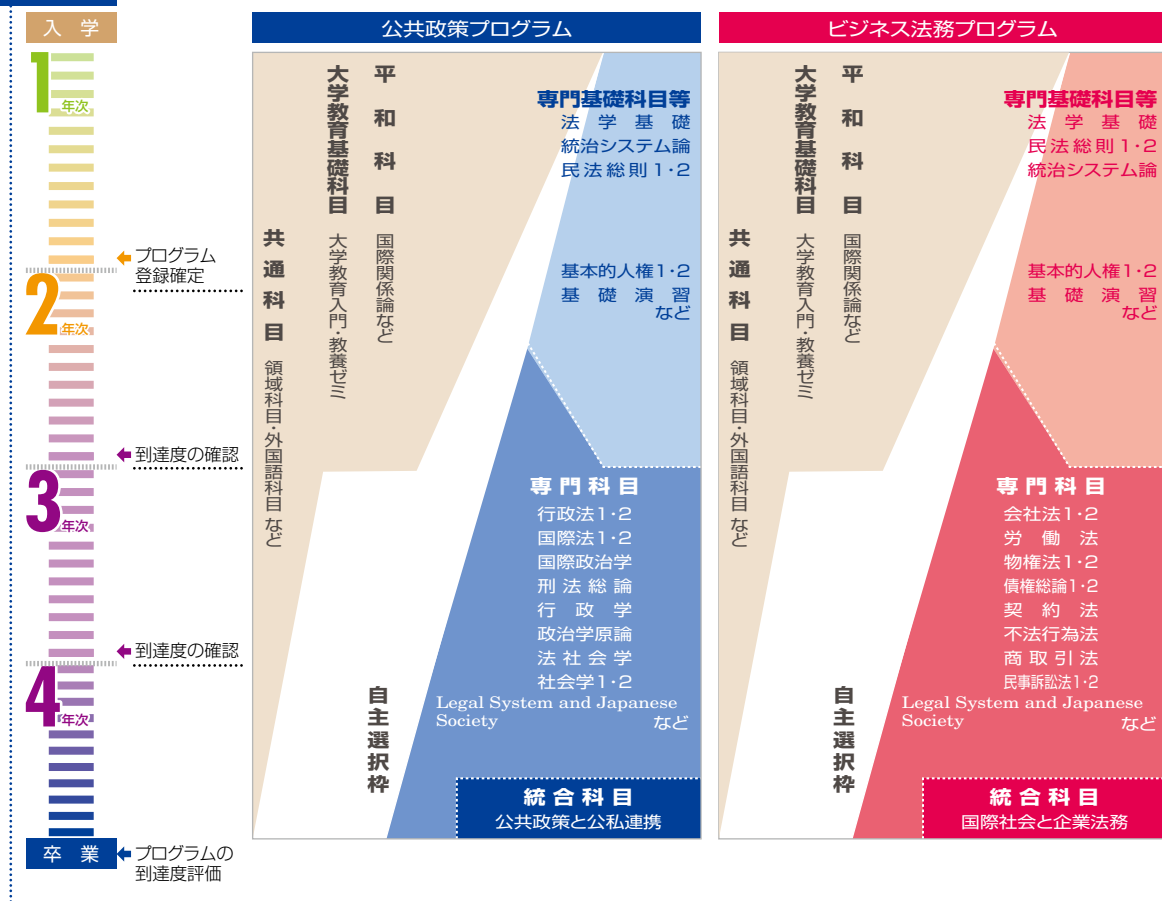
法 学	政治学・社会学
教 授 手塚 貴大(行政法・租税法)	教 授 浅利 宙(法社会学)
堀田 親臣(民法)	荒木 隆人(政治学)
松原 正至(商法)	江頭 大藏(社会学)
宮永 文雄(民事訴訟法)	永山 博之(国際政治学)
吉中 信人(刑事訴訟法・少年法)	准 教 授 小林 悠太(行政学)
准 教 授 稲谷 信行(労働法)	長久明日香(国際政治経済学)
井上 嘉仁(憲法)	湯川 勇人(日本外交史)
金ミンジュ(民法)	助 教 金本 佑太(福祉社会学)
SUN LU(刑法・東洋法制史)	
高田 恭子(民法)	
野間小百合(国際私法)	
山口 幹雄(民法)	
特命准教授 葛 虹(中国法)	
助 教 辛嶋 了憲(憲法)	

法学部で学ぶ4年間

将来の進路を見据えたカリキュラム

広島大学法学部(昼間コース)では、1年生で「教養ゼミ」や「法学基礎」などの基礎的な導入科目を履修したあと、2年生からは、卒業後の希望進路と目的意識に応じたプログラムが用意されています。「公共政策プログラム」は、公務員やN GO職員などをめざす学生を対象とし、制度の運用・評価・立案の能力を養成することを教育目標としています。「ビジネス法務プログラム」は、民間企業で活躍することをめざす学生を対象とし、企業活動の法的理解と実務能力にすぐれた人材を育成することが教育目標です。また、本学法学部の法曹コースとなる「法曹養成プログラム」は、法科大学院と連携して、法科大学院既修者コースとの一貫教育を可能にする法曹養成のための教育プログラムであり、学段階で法科大学院1年次に相当する基礎的な法律知識や能力などを早期に修得できます。それぞれの教育目標に適した専門科目群を履修し、到達度を確認しながら、力をつけていくことができます。

カリキュラム



1年生のときは、こんなふうに勉強します

教養ゼミ

担当する教員の専門分野に応じて、社会科学の世界にはじめて触れ、ディベートやプレゼンテーションを体験するなど、積極的に自己学習する方法を学びます。

写真は、ある日の教養ゼミの風景です。

1年生

法学基礎

各回の担当教員が専門分野に沿った導入的内容を解説することによって、法学の基礎になる概念と知識を教授し、法的思考力を養い、また、政治学の考え方、政治のしくみについて初歩的な知識を教授して、その役割や意義を理解させるための授業です。

この授業を通じて、各々の法分野に関心・問題意識を持ち、自主的・主体的に修学する態度を身につけてもらうことをねらいとしています。

グループに分かれてプレゼンの準備中。
「ブラックバイト」や「SNSでの誹謗中傷」など、身近な法律問題がテーマです。



2年生では、プログラムを選択します

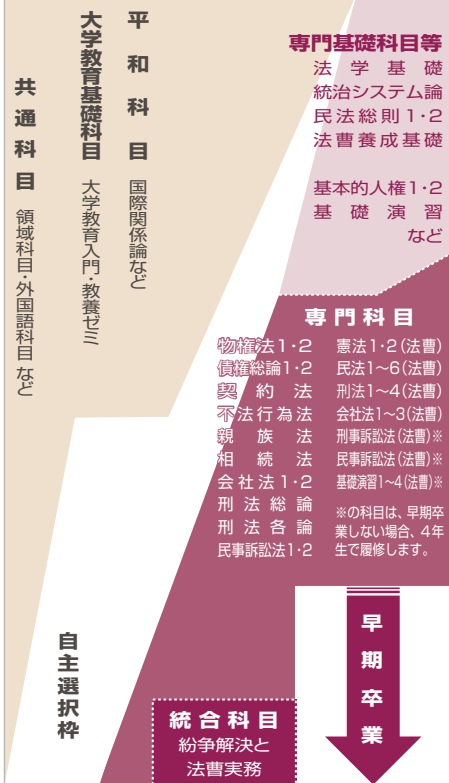
2年生になると、3つのプログラムのいずれかを選択し、「基礎演習」やプログラムの「基本科目」などを受講します。

2年生

基礎演習

2年生の基礎演習では、専門教育を受ける準備として、講義で得た基礎的知識を、使いこなすことができるよう訓練します。例えば法律系の基礎演習では、判例・事例を素材として、法律が紛争の解決にどのように用いられているか、受講生の報告に基づき、理解を深めてゆきます。このほか、政治・社会学系の基礎演習も実施されます。

法曹養成プログラム



各々のプログラムに沿った
受講科目の組み立ては、
次のような感じになります。
たとえば、公共政策プログラム
を選択した、2人の2年生の
場合を見ましょう。



A君 「最近、駅周辺の商店街の活性化を目指す市民サークルに顔を出しています。空き店舗をなくすために建物や土地の所有者と交渉したり、看板ひとつ設置したりするにしても、どうやって誰に許可をとるのか等、本当に色々な法律の知識が必要なんだと分かってきましたし、地方自治体のまちづくりの手法や実際について、もっと知りたくなってきました。だから2年生からあとは、法律の講義をみっちり勉強しながら、行政学・政策システム論・社会学などの科目をとります。将来は、都市計画や地域政策に関わる仕事に就きたいなあと考えています。」



Bさん 「卒業後は生まれ故郷に戻って、県庁か市役所で働きたいと思っています。公務員になるには公務員試験を受けなければならない、ということで、まずは民法科目の講義をプログラムの基本科目として受講して、それから3年生までの間に憲法・刑法・行政法などの公法系の科目、専門試験に欠かせない政治学・行政学・社会政策など、バランスよく公務員試験科目を押さえていきたいと思っています。」



次に、2年生になって
ビジネス法務プログラムを
選択した、別の2人の場合を
見ましょう。



Cさん 「いつか独立して事業をやりたいと思っています。そのためには、会社を作って運営することになるから、いまのうちに会社法を勉強しておこうと思っています。事業でいろんな取引をするだろうから、民法や商取引法も勉強しておかないといけませんし、人を雇うことになるから労働法も勉強しておきたいです。事業にかかわる色々なことを勉強できるのがビジネス法務プログラムの強みですね。」



D君 「僕は、商社とかメーカーとか、民間企業に就職して、バリバリ働きたいと思っています。法務関係の部署で、グローバルに活躍できたら、かっこいいですよね。そのへんのことも考慮に入れて、ビジネス法務プログラムでは、会社法とか商取引法とかに力を入れて勉強したいと思っています。国際的な視野を持ちたいので、国際取引法・国際政治経済学・国際私法などの科目も勉強したいし、あと英語の勉強も……。」



法曹養成プログラムを
選択した場合を
見ましょう。



E君 「将来、弁護士になり社会に貢献したいと思っている私にとって、法学部を3年間で卒業した後、2年制の法科大学院に進学できる法曹養成プログラムは、将来の夢を早期に実現できる上、経済的なメリットも非常に大きいと感じています。また、

広島大学の法科大学院進学に向けた奨学金制度も魅力的です。法曹養成プログラムでは、必修科目として、法科大学院の先生による授業も受けられます。日々の予習・復習は大変ですが、その分、早い段階から司法試験に向けた高度な勉強をすることができ、大きなやりがいを感じています。早期卒業のためにも良い成績をとる必要があるの、より一層頑張ります。」

3年生からは、こんなことを勉強します

3・4年生になると、専門科目を中心に受講し、専門演習(ゼミ)にも所属して、実践力を鍛え、将来の進路や目的に応じた、より具体的で専門的な内容を勉強します。ここで幾つかの講義科目やゼミを紹介しましょう。

ゼミ紹介



「憲法学」井上 嘉仁



憲法学は、国家権力を抑制し、国民の権利・自由を守るためのルールである憲法の解釈・運用を研究する学問です。私たちの権利・自由は、失われて初めてその大事さに気がつくものです。社会には、権利・自由を抑圧され、その大事さに気がついた人々が多くいますが、国民全体からみれば少数者にすぎません。憲法ゼミの課題は、こうした少数者の声を拾い、あるべき法や制度について議論していくことにあります。そのため、ゼミでは、実社会において公的機関が権利・自由にどのように向き合っているのかを学習し、社会問題となっている人権課題について、各自が意見を形成できるように、プレゼンテーションや討論をおこなっています。

渡邊 倫太郎 広島県立国泰寺高等学校卒



憲法ゼミでは、前期及び後期で異なる活動を行っています。前期ではグループとなって裁判所や県庁をはじめ、様々な行政機関、施設への訪問を行い、そこで業務内容を聞いたり施設見学をしたりしています。後期では、憲法を通して様々な時事問題、社会問題を考察、発表しています。興味関心のある事柄に対してグループに分かれて活動していくので、自分が学びたいことをとことん学べますし、主にグループで活動していくので、周りのメンバーと話し合中でより自分の知識、考えを深めていくこともできます。もちろん、憲法に関する基本的な知識や判例について学べる機会もありますので、憲法が苦手な方でも大丈夫です。私の所属しているグループは、空港を訪問し、実際に滑走路や内部施設を見学させていただきました。座学だけでなく、フィールドワークができる点も憲法ゼミの魅力だと感じています。憲法についてより深く知りたいという方はもちろん、グループで何か活動したい方、公務員試験の勉強をしたい方にも強くおすすめのゼミです。ちょっとでも興味のある方は、ぜひ見学に来てみてください!!



「政治学」荒木 隆人



政治学は、正義を追求する人間本性に基づく、総合的な人間学であると言われています。ですので、私たちに関わるあらゆる社会問題が政治学の対象になりえます。私たちのゼミでは、前期では広く政治に関係する課題を扱った本や論文(例えば、ナショナリズムと民族の問題、日本におけるジェンダー不平等、民主主義の意義と限界、移民・難民問題など)を読みます。後期には、受講者の様々な関心に基づいて、受講者自身による研究発表を行います。研究発表を通じて、受講者は自ら調べ、プレゼンし、話し合いをまとめるといった力が養成されると思います。研究発表の内容としては、国家と正義、ジェンダーと政治、公共事業のあり方、沖縄米軍基地問題など多岐にわたります。前期、後期ともに受講者が積極的に発言し、活発な討論が行われています。

長谷川 奈璃 愛知県立五条高等学校卒



荒木ゼミの特徴としては、3年生が多く、落ち着いた雰囲気でのゼミです。前期では、参加者全員で同じ本や論文を読んでいきます。まず、ゼミ生がその本や論文の担当箇所の内容を報告した後、少人数のグループに分かれてグループ討論を行います。その討論を通じてまとめられた論点をグループの代表者が発表し、他のグループのゼミ生と議論が行われます。そして、議論の最後に先生からのコメントを頂きます。後期は、前期の本や論文の講義から得た知見を活かして、各自が関心のあるテーマを選び、その内容について研究発表を行い、ゼミ生全員で討論を行います。

外国事情、哲学、政治や社会のしくみ、格差問題や人権問題に興味がある方には是非おすすめしたいゼミです。荒木先生は情熱的に語られます。時折、鋭い指摘を下され、基本的な事項でも親切に教えてくださります。毎回のゼミで、自分の知見が広がっていく感覚がとても新鮮で楽しいです。皆さんもこのゼミで政治学の見方から世界を見てみませんか。



「社会学からみた法と社会」浅利 宙



法社会学は、法律や社会規範が現実生活のなかでどのように作用しているのか、たとえば、法に関する意識や利用方法などについて、経験的データに基づきながら研究する学問領域であると表現することができます。私自身の現在の主要な関心は、家族生活や地域生活でみられる諸問題や紛争現象の生じる現代的背景、ならびに対処・解決過程を対象に、相互作用や社会関係などに着目する社会学の方法論を用いて分析・解明していくことにありますが、ゼミでは特にテーマを限定することなく、学生が選択したテーマに関する社会的アプローチを用いた研究論文を検討しています。報告と議論を通して、自身が選択した研究内容はもちろん、他の学生が選択したテーマについても理解を深め、また、法律や社会規範と現実生活との関連について関心を深めてもらえればと考えています。

保田 光太郎 広島市立広島中等教育学校卒



浅利ゼミでは社会的なアプローチを用いて、様々なテーマについて学んでいます。3年前期では指定された社会学系の文献を学びます。3年後期以降は各受講生が興味関心のあるテーマを1つ選び、社会学分野における研究動向などについて自主的に学習し、他の受講生に共有します。研究テーマは家族・地域社会・社会福祉を中心としながらも、それにとどまらず自分の関心に合わせてかなり幅広いテーマを設定することができます。授業では基本的には各回1人の受講生が事前に作成した資料を基に報告を行い、先生や他の受講生がその発表に対して質疑応答を行うという形式で進行します。質疑応答を通じて発表者は自分になかった気づきや視点を得ることができます。学期末には自身の研究内容や今後の研究方針などをまとめた期末レポートの提出が課されます。

ゼミは全体的に和やかな雰囲気で進行しています。また、発表担当でなくても積極的に発言することが求められています。まずは浅利先生の講義を受けるなどして、社会学やそれに関連するテーマに興味関心がある方は実際にぜひ見学に来てください!!

法学部夜間主コース:法政総合プログラム

「法律」を応用して様々な分野で活躍できる人材を育成するカリキュラム。

広島大学法学部の夜間主コースは、健全な社会的関心と一定の法的素養を備えた人材を社会に送り出すため多様な分野で応用できる基礎力を養成するとともに、グローバルな現代社会で行政過程や企業活動が抱える諸問題を法的視点から体系的に理解し、解決策を提案するために必要な能力や技能を修得することをめざします。

法政総合プログラムでは、1年次には導入科目により科目群の意味を理解し(導入)、2年次には基礎的な専門科目で土台となる基礎知識を定着させ(基礎)、3・4年次には専門科目と専門演習で応用力と実践力を総合的に身につける(応用・総合)というプロセスで、積み上げ型の学習を展開します。また、法学的素養に基づき現代社会の諸問題に総合的にアプローチする、実務能力において優れた人材を育成することを教育目標としています。

夜間主コースにおける授業履修の方法×授業科目

■夜間主コースにおける授業履修の方法

入学後、夜間主コースの学生は法政総合プログラムを専攻し、主として夜間授業時間帯(18時～21時10分)に、東千田キャンパスで授業を受けることになります。それ以外にも、昼間授業時間帯に行われる授業を、一定限度履修することができます。法学部昼間コースの授業も東千田キャンパスで実施されます。

さらに、東広島や霞キャンパスまで通学して、そこで行われている昼間授業時間帯の授業を受講することもできます。

このように、昼間の授業と夜間の授業の両方を履修することができるのが夜間主コースなのです。



(授業科目一部抜粋例)

昼間授業時間帯		夜間授業時間帯	
7・8時限	9・10時限	1・2時限	3・4時限
14:35～16:05	16:20～17:50	18:00～19:30	19:40～21:10
	●法学基礎 ●キャリア形成論 ●民事執行・保全法 ●倒産処理論	●基本的人権1 ●民法総則2 ○日本国憲法 ●税法1 ○大学教育入門 ○平和科目	●刑法総論 ●演習 ●統治システム論 ●民法総則1 ○教養ゼミ ○コミュニケーション英語

○教養教育科目 ●専門教育科目

・基本的には夜間授業時間帯の授業科目を履修する。

・昼間授業時間帯に開講されている授業科目は40単位まで卒業要件単位に算入できる。

在校生からのメッセージ

学びも挑戦も自分らしく



法学部夜間主コースの魅力は、自分のやりたいことをフレキシブルに実現できるところにあると思います。授業が夕方以降(18時～21時10分)に行われるため、昼間の時間を有効に活用することができます。私は昼間に事務のアルバイトをしており、社会人の方々から仕事の進め方やマナーを丁寧に教えていただいています。また、昼の授業を履修したり、資格取得のための予備校に通ったりする学生もいて、それぞれが目標を持って生活しています。さらに、授業料が昼間コースの半分程度である点も大きな魅力です。

夜間主コースには社会人学生も多く、年齢や経験の異なる方々との交流を通して、多様な価値観に触れることができます。また、夜間の授業は比較的人数が少ないため、先生との距離が近く、学ぼうとする意志がある学生にはとても丁寧に向き合ってくださいます。そのような環境の中で、「自分は将来何をしたいのか」をじっくり考える機会が多いと感じています。

私自身、現在は新しいサークルの立ち上げにも挑戦しています。また、1年次には授業の一環として、短期間ではありますが韓国、台湾、ハワイを訪れました。現地では多くの人と交流し、一緒に参加した仲間や現地の学生と深く関わることができ、かけがえのない経験になりました。夜間主コースは、学びだけでなく、自分自身の可能性を広げられる環境だと思います。

法学部夜間主コース2年 松浦 唯

夜間主コース主任挨拶

「夜間主コースへ入学される皆さんへ」



夜間主コースの授業は、夜間授業時間帯(18時～21時10分)に開講されます。夜間主コースは、もともと昼間働かなければならず、夜に勉強を行う勤労学生のために設置されました。現在も、社会人学生、フェニックス入学学生に対して開かれた学部になっています。このようなわけで、夜間主コースには、さまざまな年齢や経験をもつ学生が集まっています。

日本の大学はほとんどの学生が高校を卒業してすぐに入学していることが多く、同じような年齢と経験の人ばかりが集まることが多いのです。これは、日本などでだけみられることであり、他国では高校や短大を卒業して、何年も仕事の経験を積んでから大学に入学してくる人が少なからずいます。さまざまな背景を持っている学生がともに、同じ場で学び、話をするには大きな意義があります。若い学生と経験を積んだ学生が対等な立場で議論し、お互いから学ぶことは、今の日本では得がたい機会であり、夜間主コースの学生のみなさんにはこうした機会を活かしてほしいと願っています。

広島市の中心にある東千田キャンパスが、大学が本来もっているべき多様性を実現する学びの場であることを、みなさん自身が経験してほしいと思います。

広島大学法学部夜間主コース主任 永山 博之

楽しいよっ!! キャンパス・ライフ

学生は大学で何をしてるの？ 授業に出席して勉強するのはあたりまえ。でも、それだけじゃないんです。広島大学では、入ったばかりの新入生でも退屈するヒマもないくらい、学生生活を楽しく、忙しくするいろんなプログラムを用意しています。まず新入生がいきなり経験するのが、新入生オリエンテーション行事。2年生が1年生といっしょに活動しながら、大学生活に溶け込み、友人をつくるための企画です。

様々な留学プログラムや資格取得を目指す特定プログラムなど、学生の興味に応じて色々な体験ができます。授業の1コマとして、高裁長官や外国の学者による講演会が開かれ、学生はそこから法、政治、社会のエッセンスを吸収します。



2024年度前期STARTプログラム 台湾にて



挑戦の掛け算が、未来の可能性を広げる 廣瀬 大智 東京都出身

東京から離れた新しい環境で自分を試したいという強い思いがありました。そして質の高い法学教育と、キャンパスの国際的な雰囲気にも惹かれ広島大学を選びました。

入学後は留学生と交流する「日本語カフェ」を友人たちと立ち上げ、多様な価値観に直接触れる面白さを実感。同時に「リズムダンスクラブ」に所属しブレイクダンスに日々熱中しました。チームで一つの作品を創り上げる経験を通じて、仲間と真剣に協働しながら目標を達成する楽しさも難しさも学びました。

法学研究で培う論理的思考やカフェで得たリアルな国際感覚、そしてダンスで体得したチームワーク。これらの分野の異なる経験が有機的に結びつき私の視野を大きく広げ、人間的にも成長させてくれました。将来国際的な舞台で活躍したいという目標もより明確なものになりました。

広島大学には主体的に学べる学問だけでなくサークルや国際交流など、夢中になれる素晴らしい機会が溢れています。皆さんも一つのことに縛られず様々な挑戦を通して自分の新たな可能性を発見し、広げてください。その経験のすべてがきっとあなたの未来の力になります。



入学式

第1ターム授業終了
第2ターム授業開始



高裁長官講演会

4.
apr.

5.
may

6.
jun.

7.
jul.

8.
aug.

9.
sep.

春季休業(4月1日～7日)
入学式・父母等懇談会
新入生オリエンテーション行事
第1ターム・前期セメスター授業開始
履習手続
サークル勧誘



新入生オリエンテーション行事

広島高等裁判所
長官講演会

第2ターム・前期セメスター授業終了
夏季休業
オープンキャンパス
集中講義(夏季休業期間中)
大学院入学試験
(博士課程前期)
(博士課程後期)

ACTIVITIES



SendaLab



BIBLA Senda



東千田図書館



食堂



BIBLA Senda

大学で学ぶとは、簡単に言えば、情報を集めてそれを加工しながら、新しい情報を創ること。そのために重要なのが、図書館と情報基盤です。広島大学の図書館は、全学で5館から成り、約339万冊の蔵書を持つ、日本有数の大学図書館です。各図書館にある本は、東千田図書館に取り寄せることができます。電子ジャーナルやデータベースなどを、学内や自宅から利用することができます。また、BIBLA SendaやSenda Labなどの学習に使えるスペースもあります。



サークル活動にて



サークルメンバーと旅行



サークル活動での出会いと学び

金 載潤 韓国出身

日本に来て、広島大学入学後にSKCという軽音楽サークルに所属し、時々バンド活動をしています。日本での留学生活は楽しいことも多いですが、慣れない環境の中で孤独を感じることもあります。そのような中で、同じ法学部の学生たちと一緒に音楽を楽しむことは、私にとって大きな支えになっています。

また、大学のキャンパス内にサークル利用できる練習室があるため、気軽に集まって練習できる点も魅力です。メンバーと演奏を重ねる中で交流が深まり、日本語でのコミュニケーション能力の向上にもつながっていると感じます。

さらに、千田祭やSKCが主催するライブに出演する機会もあり、音楽を通じて仲間と出会い、一緒に一つのステージを作り上げる喜びを味わえたことは、日本での学生生活の中でも特に印象深い経験です。これからもサークル活動を通して、多くの思い出を作っていきたいと思います。

第3ターム授業終了
創立記念日(11月5日)
入学試験
(広島大学光り輝き入試)
(編入学試験)



千田祭

第4ターム・後期セメスター
授業終了
学年末休業
入学試験(前期日程)
大学院入学試験
(博士課程前期二次)
(博士課程後期)

学位記授与式
成績優秀者表彰式
懸賞論文表彰式



学位記授与式

第3ターム・後期セメスター授業開始
履習手続
就職内定者報告会
法学部就職ガイダンス
千田祭(大学祭)
入学試験(広島大学光り輝き入試)

第4ターム授業開始
冬期休業
(12月26日～1月5日)
大学入学共通テスト



マルメ大学



留学先の友達と



広島から世界へ：留学を通じて広がった視野と学び

岡島 由奈 広島県出身

広島大学では、毎年多くの学生が留学を経験していることも大きな特徴の一つです。私は、大学の交換留学プログラムを利用して、2年次の8月から3年次の6月まで、スウェーデン南部にあるマルメ大学へ留学しました。

留学先では、「人権」のプログラムを専攻し、法学・社会学・哲学の視点から見た人権に関する授業を受講した他、最終課題では人権問題に関する論文をグループで執筆し、体系的に理解を深めました。スウェーデンの他にも、ロシア、イタリア、ギリシャ、ドイツなど様々なバックグラウンドを持つ人々とともに、人権というキーワードを軸に1年間学んだことは、非常に大きな経験でした。

また、現地の平和団体と連帯し、広島の前爆や核兵器の問題に関するプレゼンテーションを現地で複数回行うこともできました。留学後も、オンラインを通じて交流を続ける予定です。世界規模の問題について、国境を超えて様々な人々と繋がり、話し合うことの大切さを強く感じました。

広島大学では、大学内での座学にとどまらない、様々な学びの機会に溢れています。教授や友人も、それぞれの夢を応援してくれる人たちがばかりです。貴重な環境に身を置けていることに感謝し、これからも視野を広げ学び続けていきたいです。

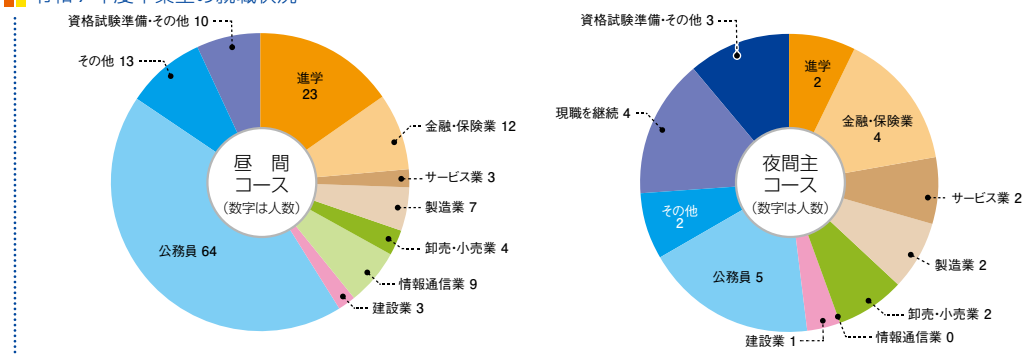
各界で活躍する先輩たち

卒業生の進路

広島大学法学部では、卒業後に地方公務員や国家公務員となって官公庁で働く人の割合が、他学部に比べて大きいのが特徴です。もちろん民間企業でも多くの卒業生が、さまざまな業界の法律の知識を活かす部署で、生き生きと働いています。

その他、大学院に進学して、裁判官・検察官・弁護士・司法書士・公認会計士・税理士などといった法律関係の専門職に就くため、資格試験にチャレンジする人もいます。

令和7年度卒業生の就職状況



(進路先の一覧)

昼間コース **〈就職先〉** ■金融・保険業 株式会社 広島銀行、みずほ証券株式会社、損害保険ジャパン株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社 西日本シティ銀行、株式会社 武蔵野銀行、株式会社 三井住友銀行、株式会社 山口フィナンシャルグループ、アフラック生命保険株式会社、大和証券株式会社、富国生命保険相互会社 ■サービス業 イー・ガーディアン株式会社、株式会社 第一ビルサービス、一般財団法人 中国電気保安協会 ■製造業 酔鯨酒造株式会社、豊田合成株式会社、株式会社 豊田自動織機、AGC株式会社、今治造船株式会社、はごろもフーズ株式会社、株式会社トクヤマ ■卸売・小売業 丸紅株式会社、株式会社 FOOD&LIFE COMPANIES、株式会社 ファーストリテイリング、阪和興業株式会社 ■情報通信業 株式会社 日立ソリューションズ西日本、NTT西日本株式会社、KDDI株式会社、株式会社 バンダイナムコフィルムワークス、株式会社 マーブル、株式会社 システムエグゼ、レバレジーズ株式会社、sotte株式会社 ■建設業 東洋熱工業株式会社、清水建設株式会社、株式会社 マエダハウジング ■その他の一般企業 株式会社 ライフアシスト、ワイズ株式会社、マツダロジスティクス株式会社、大阪ガスリキッド株式会社、豊田合成株式会社、中国電力株式会社、四国電力株式会社、中部電力株式会社、株式会社 丸和運輸機関、住友不動産株式会社、エスエスケイシッピング株式会社 ■地方公務員 広島県、広島市、兵庫県、東京都、福岡市、沖縄県、島根県、長崎県、宮崎県、京都府、岡山県、福岡県、愛知県、北九州市、出雲市、静岡市、佐佐町、広島県警察 ■国家公務員 経済産業省、会計検査院、気象庁、公正取引委員会、広島地方裁判所、岡山地方裁判所、大分地方裁判所、長崎地方裁判所、松江地方検察庁、陸上自衛隊、中国四国防衛局、広島県警、皇宮護衛官、国税庁広島国税局、経済産業省中国経済産業局、経済産業省九州経済産業局、広島法務局、前橋地方検察庁、農林水産省東海農政局、国土交通省中国地方整備局、国土交通省四国地方整備局、財務省近畿財務局、財務省中国財務局、財務省福岡財務支局、厚生労働省佐賀労働局、厚生労働省長崎労働局、門司税関、林野庁近畿中国森林管理局 **〈進学先〉** 国立大学法人広島大学人間社会科学研究科法学・政治学プログラム、国立大学法人広島大学法科大学院、国立大学法人東京大学法科大学院、国立大学法人一橋大学法科大学院、国立大学法人大阪大学法科大学院、国立大学法人神戸大学法科大学院、国立大学法人岡山大学法科大学院、国立大学法人九州大学法科大学院、早稲田大学大学院、同志社大学法科大学院

夜間主コース **〈就職先〉** ■金融・保険業 株式会社 静岡銀行、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社 ■サービス業 株式会社 BREXA Technology、株式会社 イズミテクノ ■製造業 株式会社 小松製作所、株式会社 サンポール ■卸売・小売業 株式会社 藤三、山のはちみつ伊豆高原店 ■その他 株式会社 オープンハウスグループ、株式会社 川商ハウス ■国家公務員 公安調査庁中国公安調査局、造幣局広島支局、中国四国防衛局、財務専門官 ■地方公務員 広島市 **〈進学先〉** 国立大学法人広島大学人間社会科学研究科法学・政治学プログラム、学校法人東京環境工科学園 東京環境工科専門学校

法学部の勉学支援

広島大学法学部では「法学会」と「後援会」という組織を作って、皆さんの学生生活の現在と未来を、様々な側面からサポートしています。

「法学会」は、『広島法学』を刊行し、広島大学法学部の教育・研究の成果や水準を、国内外に示しています。

「後援会」は、皆さんの学生生活に必要な不可欠であるものの、大学予算ではまかなえない部分を、金銭的にバックアップする活動をしています。例えば、留学経費の補助、司法試験、司法書士試験、公務員試験などの各種資格試験のための勉強会の応援、民間企業への就職を考えている人向けの対策講座や講演会などを行う際の補助金の支出、広島大学法学部を会場として開催される全国学会や研究会への助成金支出、卒業祝賀会への補助などの活動をしています。

また「法学会」と「後援会」は共催で、国際的に著名な研究者や専門家を招く学術講演会を開催したり、11月頃から募集される懸賞論文を表彰したりするなど、皆さんの勉学意欲と将来への展望を刺激しつづけています。

法学部の就職支援

法学部では、学内のグローバルキャリアデザインセンターや学外の就職関連業者との連携を図りながら、法学部独自の支援も行い、1年生から卒業年次に至るまでの、トータルな就職活動支援システムをもっていきます。

まず1年生は、広楓会(広島大学法学部・経済学部同窓会)主催の「卒業生と在校生の懇談会」に参加します。この懇談会は、公務員や企業、法曹等の様々な分野で働く法学部卒業生を迎えて、入学後の早い段階から、学生の皆さんに「様々な進路があること」や「法学部で学んだ内容が仕事にどう生かされているか」を知ること、「働くことはどのようなものか」を意識してもらうために行っています。

2年生以上では、ゼミ連が開催する公務員/民間企業/法曹に分かれた「進路相談会」や、大学院法学・政治学プログラムの入試説明会及び大学院実務法学プログラムが開催する「司法試験合格者体験談を聞く会」等が開催され、学生の皆さんはそれぞれが思い描いていた進路のイメージを具体化していくことができます。

また、東千田キャンパスではハローワークの相談員による「キャリア相談」が行われています。就職活動の流れ、自己分析、エントリーシート添削、面接練習、留学と就活の両立、公務員・教員と民間企業の併願、進学か就職か迷っている場合など、プロの相談員に学年を問わず相談ができます。



懸賞論文表彰式にて

卒業生紹介



様々なことに積極的に挑戦し、 大学生生活を楽しんで

中島 綾花(検察庁・令和5年度卒)

私は、大学で、社会のルールである法律について学びたいと思ったのと、漠然と将来は公務員になろうと考えていたので、法学部を選びました。

また、広島大学は、教養科目が充実しており、専攻分野以外も広く学べることから進学を決めました。

そして、刑事事件に興味があったこと、大学で学んだ法律を活かせる仕事に就きたいと考え、検察庁に入庁しました。

検察庁に興味を持ったきっかけは、所属していた憲法のゼミナールで、官公庁について調べる活動を行い、その際に、検察庁を訪ねたことでした。

検察庁について調べたり、職員の方から話を聞いたりして、捜査、公判に従事するという他では経験できない仕事してみたいと思ったことが入庁を決めた理由の1つでした。

現在は、捜査、公判に関わり、検察官とともに、日々、事件の真相解明に携わりながら、責任感を持って仕事に取り組めるところにやりがいを感じています。

社会人になり、私が、大学でやってあげればよかったと思うことはいくつかありますが、そのうちの1つは、様々なことに積極的に挑戦することです。

私が社会人になって強く感じるのは、自分のために使える時間が少なくなったことです。

その点、大学では、その時間がたくさんあるので、興味があることや経験したことがないことに挑戦し、様々な経験ができます。

その経験を通じて自分を深く知ること、将来についてより多角的な視点で考えられるようになり、選択肢も広がります。

そして、その経験の中で、様々な人に出会い、多様な考え方や価値観に触れることで、視野を広げられると思います。

私自身、アルバイトやゼミ等で多くの人と出会い、その中には自分の考え方を見直すきっかけになったものもあり、人と出会うことの大切さを感じました。

大学で学んだことや経験したことは、仕事をする上で、役に立つことが多くあるので、人との出会いを大切に、一度きりの大学生活を楽しんでください。



大学時代にしかない出会いを大切に

續 諭 果(法務省・令和6年度卒)

私は、私人間の紛争解決過程における法的な考え方を学びたいと考え、法学部を選びました。その中でも、人の一生に密接に関わる戸籍や相続等に興味を持ち、将来は、より国民の方々にとって利用しやすい法制度作りに携わりたいと考え、法務省に入省しました。大学を卒業したばかりの私から、皆さんにお伝えしたいことは、以下の2点です。

まず、大学では、自身の専攻以外の分野について学ぶ姿勢も、大切にしてください。私は現在の職務で法以外の分野に触れることが多々あり、大学時代にもっと幅広く勉強し教養をつけておけば、現在の職務でも活かされたのにと反省しています。他の職種においても、世間を知ることの重要性は変わりません。教養科目や、本・新聞、他学部生との交流を通し、様々な学問に目を向けてみてください。視野を幅広く持てば、将来の選択肢が広がりますし、その先の職業人生でも役に立ちます。

次に、人との出会いを大切にしてください。私は昔から、交友関係を広めることに苦手意識があり、何かにチャレンジする前に足踏みすることが多くありました。そんな中、思い切って入部したサークルやボランティア活動では、情熱にあふれた人、一見物静かに見えて芯を強く持っている人等、多様な方々があり、私が知らなかった世界をたくさん見せてくれました。これらの経験は、自分の内面や将来について考え直すきっかけとなっています。振り返れば、もっと行動力を持ち、積極的に交流を増やせば良かったと思っています。ゼミ・サークル・プログラム等に取り組む機会・時間が沢山ある大学は、多種多様な人々と関わりあえる絶好のチャンスです。皆さんはぜひ、大学時代にしかない出会いを大切にしてください。



よりよく生きるための 「学び」に出会う場所

柴田 佳 祐(広島経済大学教養教育部助教・平成29年度卒)

高校生の頃の私は、社会や国際問題に漠然とした関心を持っていました。ニュースで見る出来事や背景には何があるのか、国と国との関係はどのように動いているのか。そのような問いを抱きながらも、当時はまだ、それをどのように学問として深めていけばよいのか、はっきりとは分かっていませんでした。

広島大学法学部での学びは、そうした関心に輪郭を与えてくれました。法学部という名前からは、法律を中心に学ぶ場所という印象を持つかもしれませんが、もちろん法学の学びは重要な柱ですが、私にとって印象的だったのは、政治学や社会学を含む幅広い科目を通じて、社会を多面的に考える機会が与えられていたことです。一つの出来事を、法、制度、歴史、人びとの価値観などさまざまな角度から見直すことで、社会を見る目が少しずつ育っていったのだと思います。

特に大きかったのは、少人数のゼミでの先生との出会いや、友人たちとの議論です。自分では分かったつもりでいたことも、他の人の意見を聞くことで、まったく別の見方があることに気づかされました。時には、自信を持って述べた意見が、議論のなかであっさり揺さぶられることもありましたが、その経験こそが、資料を丁寧に読み、自分の言葉で考え、相手に伝える力を育ててくれたのだと思います。

大学での学びは、最初から明確な目標を持っている人だけのものではありません。むしろ、迷いながら授業を受け、本を読み、人と話すなかで、思いがけない関心や出会いが生まれる場所だと思います。私自身も、ゼミでの議論や幅広い授業を通じて、自分の考えが揺さぶられる経験を重ねながら、社会について考える視野を少しずつ広げていきました。その積み重ねが、いま国際政治を研究し、学生とともに考える仕事につながっています。

これから大学を目指すみなさんには、ぜひ好奇心を大切に、ぜひほしいと思います。すぐに答えが出ない問いに出会うこと、うまく言葉にできずに悩むことも、大学での大切な学びです。広島大学法学部での時間が、みなさんにとって、新しい関心や人との出会いを通じて、社会と向き合う自分なりの視点を育てる時間になることを願っています。



夢や挑戦を多様な学びと温かな サポートで後押ししてくれる場所

田中 楓香(株式会社 ファーストリテイリング・令和7年度卒)

私は幼少期から「性別など自分では変えられない要素によって、挑戦の機会が奪われない社会にしたい」という思いがあり、法律を学ぶことで困っている人の力になれると考え、法学部に入学しました。

広島大学法学部の魅力は、大きく二つあります。

一つ目は、法学だけでなく、政治学や社会学まで幅広く学べる点です。私は入学後、ジェンダー領域への関心を深める中で、「自分が本当に取り組みたいテーマは、政治学や社会学にも強く関わっている」と気づきました。学科が分かれていないからこそ、興味の変化に合わせて学びを広げられたことは、大きな魅力でした。

二つ目は、親身に向き合ってくれる先生や職員の方の存在です。私自身も学びや進路選択の場面で、多くの方々に支えていただきました。私は会社法の授業をきっかけに金融商品取引法ゼミへ入り、日本経済新聞を分析しながら企業研究を行いました。入学当初は公共機関への就職を志望していましたが、学びを深める中で、企業には事業を継続し価値を生み出し続けることで、社会に長期的な影響を与えられる力があると感じるようになりました。社会課題の解決も、理想として掲げるだけでなく、事業を通じて継続的に社会へ浸透させていくことが重要だと考え、民間企業へ進路を選択しました。就職活動ではゼミの先生が何度も相談に乗ってくれたり、自分の夢を実現できる企業へ進むことができました。

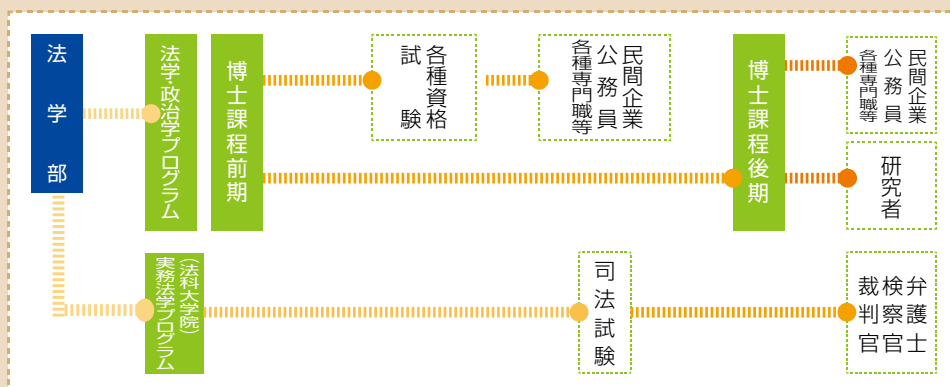
また、3年次にはジェンダーサークルを立ち上げました。活動の中では、多くの大学関係者の方々に支えていただき、学内外でのイベント開催、千田祭での展示会、県内男子校での性教育の出張授業など、様々な挑戦を実現できました。高校生の頃に思い描いていた活動を形にできたことはかけがえのない経験です。

広島大学は、学生の夢や挑戦を多様な学びと温かなサポートで後押ししてくれる場所です。ぜひ人との出会いを大切に、自分らしい大学生活を送ってください。

※職名等は令和8年7月当時のものです。

大学院で学ぼう

卒業後さらに大学院に進学して、法学部で学んだことを発展させ、研究を深める途が開かれています。また最近では、大学院を修了した専門知識を有する人を求める企業も増えています。大学院で学ぶことによって、研究者や高度専門職業人といった幅広い進路が皆さんに開かれるでしょう。



大学院 法学・政治学プログラム

専門家を目指してみませんか



プログラム長 吉中 信人

今日、私たちの社会が抱える諸問題は、ますます複雑化し、多様化しています。こうした時代にあっては、視野を幅広く持ちつつも、専門的に深化した能力が重要になります。法学・政治学プログラムでは、特定のテーマに絞って深く掘り下げた研究を行うプロフェッショナルを養成します。法学、政治学はもちろん、社会学を専門とする充実したスタッフを揃え、少人数での演習方式を中心とした研究を行います。修士号を取得して社会で一段上の分析能力を発揮するもよし、また、博士課程後期に進学したのち博士号を取得して大学教授を目指すのも良いでしょう。「法曹」とは、普通は裁判官、検察官、弁護士の3者を意味しますが、大学等の研究者を加えて、「法曹4者」といわれることもあります。法学はもちろん、政治学、社会学の専門家を、あなたも目指してみませんか。

大学院 実務法学プログラム(法科大学院)

法曹として活躍する未来のために

法科大学院とは、法曹実務家(裁判官・検察官・弁護士)を養成する専門職大学院です。法曹資格を取得するためには、司法試験に合格しなければなりません。その司法試験の受験資格を得るための要件が法科大学院の修了です(ほかに、司法試験予備試験に合格することで司法試験の受験資格を得る方法もあります)。

広島大学法科大学院を修了し、司法試験に合格し、法曹実務家になった多くの修了生は中四国地方を中心に全国で活躍しています。法曹人口の増加にともなって、法律事務所に勤める弁護士のほか、企業内弁護士・自治体内弁護士(組織内弁護士)として活動する法曹も大幅に増加するなど、法曹が活躍するフィールドは多様化し拡大しています。

広島大学では、東千田キャンパスを「法曹養成の拠点」として整備し、法学部と法科大学院が連携して一貫した教育課程を提供する「法曹コース」を設けています。「法曹コース」では、法学部を3年間で早期卒業し、法科大学院既修者コース(2年間)に入学できます。さらに、法科大学院在学中(3年次)に司法試験を受験すること(在学中受験)で、法学部入学から最短5年間で法科大学院の修了と司法試験合格を目指すことが可能です。

広島大学法科大学院は、司法試験合格のためのサポート体制を充実・強化し、広島弁護士会と連携して弁護士ゼミやサマースクールを開催するなど、継続的かつ一貫した学習支援制度や多様な奨学金制度を設けて、学生みなさんを強力にバックアップしています。法曹実務家として活躍する未来を実現できるように、法学部の学生みなさんの努力を応援し支え続けていきます。



プログラム長 田村 耕一

04

プログラム長からのメッセージ
院生紹介

こんなふう勉強しています!!

院生紹介



■ 棚田 優香 (法学・政治学プログラム 博士課程前期)

私は大学一年生のころに受けた憲法の授業が非常に興味深かったことが転じ、現在はドイツ憲法と日本国憲法を比較しながら、もともと好きだった芸術領域に関連づけて、「芸術の自由が憲法上どのように保障されているか」を研究していきたいと思い、日々精進しています。

学部生のころは授業以外にもサークル活動や大学祭実行委員会の活動に取り組み、濃密な時間を過ごしました。大学三年生になり、周囲が就職活動や公務員試験対策を始めるなかで自分は何をしたいのかと考える機会が増え、私が一番楽しいのはゼミの発表資料を作成しているときや講演会の聴講をしている時だと気づき、大学院進学を決めました。

大学院では学部生のころと異なり、少人数でのゼミ形式の授業がほとんどです。私は発表資料を作る段階で周辺知識をさうのが好きなので、作成自体は大変ですが非常によく行えています。学部生のころよりもさらに高度且つ奥深い内容を扱うため、「なぜこのような現行の法制度が維持されてきたのか」「なぜこの議論が起こっているのか」「どうすれば解決に向かうのか」などさまざまな疑問を考え通すことができます。留学生の方や社会人院生の方も多く

いらっしゃるので、様々な知見の交換ができ、授業中の議論もとても興味深いものとなっています。

また、私はドイツ憲法に興味があるためドイツ語も学習しているのですが、指導教員の先生は言語学習にもしっかりと寄り添ってくださっています。優しく親身にお話を聞いてくださる先生方や職員さんがたくさんいることも法学部の魅力の一つです。さらに、学会・研究会なども年に複数回あり、現在の法学分野でどんな議論があるのかを知ることができる貴重な機会となっています。

このように広島大学にはのびのびと自分のやりたいことに向けて活動できる環境がそろっています。法律に興味がある方もまだ将来の目標が明確に決まっていなくてもさまざまな領域でかけがえのない時間が過ごせると思います。ぜひさまざまな価値観や考え方を持つ仲間とともに純粋に学問にはげめる時間をすごしませんか？そして、よろしければ法学部入学後「法学・政治学プログラム」という進路もぜひ選択肢の一つとして考えていただけると嬉しいです。広島大学で皆さんのことを待っています！

■ 崔 杰 (法学・政治学プログラム 博士課程後期)

広島大学大学院法学・政治学プログラムの博士課程後期に在籍する中国出身の留学生です。私の研究内容は国際安全保障に関するものです。国々の中によく見られる同盟関係と国内政治の関係に注目して、研究を進めています。永山博之先生の下で勉強をしつつ、広島大学に来て3年目に入りました。ここで、博士課程前期を修了して、現在は博士課程後期の二年目です。

大学院生として、主に特別研究をします。先生により指導法が変わるかもしれませんが、永山ゼミでは、月一回ぐらいの頻度で、自身の研究の進捗状況を先生に報告して、指導を受けています。

大学院では、安全保障論以外にも、外交論、行政学、多文化共生の現代政治学、国際政治経済学など、幅広い政治学に関する授業が開講されています。好きな授業を取って、自分の研究に活かすことも重要です。

法学・政治学プログラムには優しい先輩がたくさんおり、研究の仲間を作ることができます。同じ研究室の友達と仲良く、定期的に読書会で同じ本を読み感想をシェアしたり、発表の練習をしたりするなど、気楽な雰囲気です。研究することができます。さらに、他大学の研究者との交流の機会も豊富で、広い視野を得られる環境が整っています。

大学は大学院生の学習環境と生活を広く支援してくれます。綺麗な研究室と充実した設備、他のキャンパスや他大学から図書の取り寄せができる図書館はとても便利です。経済面の支援も手厚く、独自制度もあります。ここには研究に専念することができる環境があると感じます。

私は将来、国際視野を持つ、専門知識が豊かな人になることを目指して、多くの先輩たちと同様に、大学で研究を続けていくことを希望しています。

法学部と法学・政治学プログラムは、2023年4月に広島市内に移転しました。そのため、生活はより便利になりました。さらに、大学から多くの支援が得られ、研究の仲間も作りやすい環境のため、快適に研究できるところだと感じています。広島大学法学部、大学院法学・政治学プログラムに入ることを検討している方、ぜひここから、自分の夢を追いかけましょう。



大学院紹介・院生紹介

Hiroshima Univ.

法学部



■ 藤原 汐星 (実務法学プログラム(法科大学院))

大学受験に際し将来の進路を考える中で、以前から憧れていた法曹という職業への思いが大きくなり、法学部への進学を決めました。受験校を調べる中で、広島大学法学部には法曹養成プログラムと早期卒業制度があることを知りました。経済的・時間的な負担を抑えつつ法曹を目指す点に大きな魅力を感じ、「このような制度があるなら、ぜひ活用したい」と思い、学部生活では早期卒業を目標に努力しました。

大学に入るまで法律を学んだことがなく、1年生の頃は授業についていだけで精一杯でした。法科大学院の入試では学部の成績が影響するため、日々の講義に真剣に取り組み、良い成績を収めることを心がけていました。また、学部時代には産学連携プロジェクトや検察エクスターンシップに参加したほか、広大生が無料で聴講できるシンポジウムや講演会等にも積極的に参加しました。実務に関する学びは非常に興味深く、座学だけでは得られない多くのことを学ぶ貴重な機会になりました。

広島大学法学部では、法曹養成プログラムの一環として法科大学院の先生による講義があり、大学院の科目を早期に履修できる制度も整っています。法学部と法科大学院が密接に連携しており、自然と法科大学院の先生方とも関わる機会が多くありました。学部でお世話になった法科大学院の先生の下で引き続き学びたいと感じたことも、広島大学法科大学院への進学を決めた理由の一つです。

大学院では、より高度な授業が展開され、学部以上に深い理解や応用力が求められます。忙しい日々の中で、親身に指導して下さる先生方や、意欲的な同級生・先輩方に支えられながら、互いに刺激を受け、日々成長を実感しています。

法学部を受験する皆さんの中には、「法律＝暗記」というイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。確かに、覚えるべきことは少なくありませんが、それ以上に大切なのは、覚えた知識を具体的な問題にどう応用するかを自分の頭で考えることだと思います。そして、今自分が学んでいる一つひとつの知識が、将来、困難な状況に直面する人々を支えるための力になるかもしれないと考え、学ぶ意義を強く感じ、自然と勉強への意欲も湧いてきます。法曹として社会に貢献することを目指すうえで、広島大学での学びの積み重ねが、確かな土台となっていくのだと思います。

広島大学法学部・法科大学院には、法律を深く学び、将来の目標に向かって着実に歩むための環境が整っています。ぜひ、広島大学法学部・法科大学院で一緒に学びましょう。

法学部への入口は多彩

2つのコース

高校から大学へ、フルタイムの学生(学業専念)をめざすあなた

日間コースへ。

最も多い募集は、大学入学共通テストから前期の一般選抜をトライ。そのほか、大学入学共通テストを課さないⅠ型、国際バカロレア型の他、大学入学共通テストを課すⅡ型も用意し、多様な人材を受け入れています。

広島大学法学部

区分	選抜区分	定員	選考方法	9月	10月
日間コース	広島大学光り輝き入試 総合型選抜Ⅰ型	5名	書類選考・面接	■ 出願 ● 書類選考	▲ 1次発表
	広島大学光り輝き入試 総合型選抜Ⅱ型	5名	小論文・面接・ 大学入学共通テスト		■ 出願
	広島大学光り輝き入試 国際バカロレア型	若干名	面接		■ 出願
	広島大学光り輝き入試 外国人留学生型(2月実施)	若干名	面接		
	一般選抜(前期日程)	130名	個別テスト(国語・外国語)・ 大学入学共通テスト		
	第3年次編入学試験	5名	小論文・口述試験		■ 出願
夜間主コース	広島大学光り輝き入試 国際バカロレア型	若干名	面接		■ 出願
	広島大学光り輝き入試 社会人型	15名	小論文・面接		■ 出願
	広島大学光り輝き入試 フェニックス型	若干名	小論文・面接		■ 出願
	一般選抜(前期日程)	15名	個別テスト(国語)・ 大学入学共通テスト		
	第3年次編入学試験	5名	小論文・口述試験		■ 出願

社会科学オーディション(日間コース・総合型選抜Ⅰ型)

総合型選抜Ⅰ型へ出願するためには、例年5月中旬と7月下旬または8月上旬)に実施する「社会科学オーディション」に2回参加する必要があります。

夜間主コースの年齢要件・特徴

社会人型は22歳以上、フェニックス型は60歳以上が対象です。

外国人留学生型(2月実施)・国際バカロレア型

要件を満たしていれば、選考方法は「面接」のみです。

詳細は、該当年度の「学生募集要項」で必ず確認してください。

働きながら学ぶ、生涯学習をめざすあなた

夜間主コースへ。

多彩な選抜を用意しました。大学入学共通テストから前期の一般選抜へ進む道とは別に、あなたに合った入試にチャレンジしましょう。夜間主コースでは、主に18時から21時10分の夜間に学習するほか、制限単位数以内であれば東広島や東千田キャンパスの昼間時間帯の授業を履修することもできます。また、昼間コースの学生と一緒に、同一時間に昼間コース夜間主コースの両方で開講される講義を受講することもできます。

入試全体像・スケジュール一覧

月	11月	12月	1月	2月	3月	備考（主な出願要件など）
● 面接	★ 合格者発表	◆ 入学前教育 (～2月下旬)				社会科学 オーディション(2回) 参加者のみ
	● 小論文・面接	▲ 1次発表	● 大学入学共通テスト	★ 合格者発表		
	● 面接	★ 合格者発表				IB最終試験成績 評価証明書
		■ 出願		● 面接	★ 合格者発表	日本留学試験・英語 民間試験成績証明書
			● 大学入学共通 テスト	● 個別テスト 国語・外国語	★ 合格者発表	
	● 小論文・口述	★ 合格者発表				英語CEFR B2相当レベル以上
	● 面接	★ 合格者発表				IB最終試験成績 評価証明書
	● 小論文・面接	★ 合格者発表				22歳以上の方 が出願可能
	● 小論文・面接	★ 合格者発表				60歳以上の方 が出願可能
			● 大学入学共通 テスト	● 個別テスト 国語	★ 合格者発表	
	● 小論文・口述	★ 合格者発表				英語CEFR B2相当レベル以上

ご不明な点は、パンフレット裏表紙記載の窓口までメール等でお問い合わせください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/law>

E-mail: senda-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp



- ・JR 広島駅からバスまちのわループ左回り、
50 号東西線アルパーク方面行で「日赤病院前」下車
(所要時間約 20 分)
- ・JR 広島駅から市内電車紙屋町経由「広島島」行で「日赤病院前」下車
(所要時間約 30 分)
- ・JR 横川駅から市内電車「広島島」行で「日赤病院前」下車
(所要時間約 25 分)

